

東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

放射線測定設備に関する  
検査実施要領書

令和 5 年 8 月  
原子力規制庁

# 目 次

1 . 検査目的	1
2 . 検査対象範囲	1
3 . 検査項目	1
4 . 検査前確認事項	1
5 . 検査方法	1
6 . 判定基準	2
7 . 検査成績書の作成	2
8 . 添付資料	2
添付資料 1 設備概要	3
添付資料 2 モニタリングポスト配置図	4
添付資料 3 モニタブロック線図	5
添付資料 4 設定値一覧表	6
添付資料 5 放射線測定設備の性能検査手順	7
添付資料 6 放射線測定設備に関する検査成績書	8

## 1. 検査目的

放射線測定設備は、原子力災害対策特別措置法(平成11年法律第156号。以下「原災法」という。)第11条第1項及び原子力災害対策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事象等に関する規則(平成24年文部科学省・経済産業省令第2号。以下「規則」という。)第8条の規定に基づき、原子力事業所区域の境界付近に設置され、また、放射線量を継続的に測定し、あらかじめ設定した値以上である場合において警報を発する機能を有することとされている。

本検査は、原災法第11条第5項に基づき行う検査であって、当該設備が規則第8条3号に掲げる性能を満足していることを確認するものである。

## 2. 検査対象範囲

(1) 屋外放射線監視盤(1号機中央制御室) 9式

## 3. 検査項目

- (1) 警報レベルの誤差確認検査
- (2) 記録確認検査

## 4. 検査前確認事項

- (1) 検査で使用する計装品が必要な測定範囲及び精度を有していることを較正記録等(有効期限内であるものに限る。)で確認する。

## 5. 検査方法

- (1) 警報レベルの誤差確認検査

電氣的模擬信号の投入により、指示値を変化させ、添付資料4に示す設定値以上で作動(警報音の吹鳴、表示灯の点灯等)することを確認する。なお、検査手順は添付資料5を参照のこと。

- (2) 記録確認検査

検出された数値が確実に記録されていることを確認する。なお、検査手順は添付資料5を参照のこと。

なお、上記(1)～(2)の検査を行う際には、検査対象設備の外観及び据付の状態が各検査結果に影響を及ぼす可能性がないことを設置場所において、目視、品質記録等で確認する。

## 6 . 判定基準

### ( 1 ) 警報レベルの誤差確認検査

警報音の吹鳴、表示灯の点灯等が正常に作動し、以下を満たすこと。

- ・ 屋外放射線監視盤の警報装置が設定値の 80% の値で 1 分間作動しないこと。
- ・ 屋外放射線監視盤の警報装置が設定値の 120% の値で 1 分以内に作動すること。

### ( 2 ) 記録確認検査

模擬信号による入力値に対し記録紙に記録された記録紙上の数値が、以下の許容範囲内であること。

- ・ アナログ対数計：指示値に対する許容範囲が  $\pm 0.06N$  デカード以内であること  
(注；対数目盛において二つの目盛値の比の常用対数が  $N$  であるとき、目盛間の範囲を  $N$  デカードという)。

## 7 . 検査成績書の作成

添付資料 6 に基づき、放射線測定設備に関する検査成績書を作成し、原子力規制庁長官官房放射線防護グループ監視情報課へ提出する。

## 8 . 添付資料

- 添付資料 1 設備概要
- 添付資料 2 モニタリングポスト配置図
- 添付資料 3 モニタブロック線図
- 添付資料 4 設定値一覧表
- 添付資料 5 放射線測定設備の性能検査手順
- 添付資料 6 放射線測定設備に関する検査成績書

注) 上記添付資料のうち、添付資料 1 ~ 5 は事業者から提供を受けた資料である。

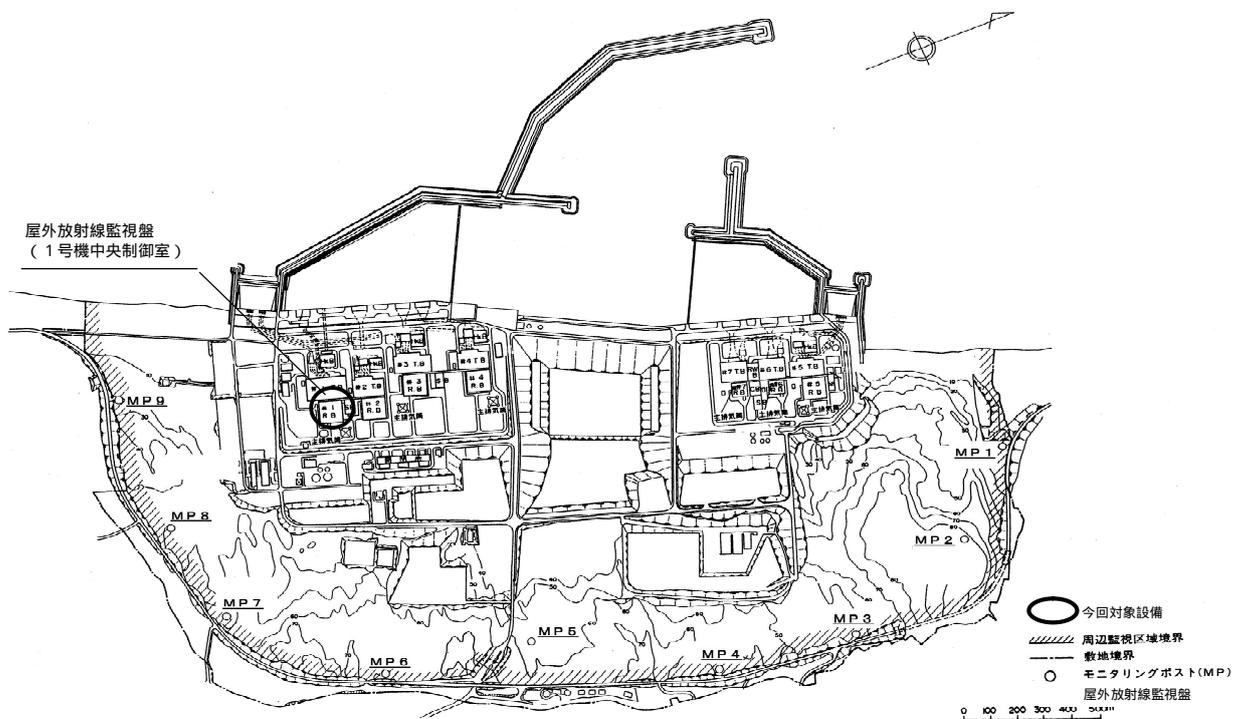
## 設備概要

## 1. モニタリングポスト

- ( 1 ) 測定対象 空気吸収線量率
- ( 2 ) 設置場所 原子力事業所の周辺監視区域内の境界付近に、ほぼ等間隔で 9 箇所設置  
( 添付資料 2 参照 )
- ( 3 ) 検出器 NaI ( T l ) シンチレーション ( 低レンジ )  
電離箱 ( 高レンジ )
- ( 4 ) 測定範囲 NaI ( T l ) シンチレーション ( 低レンジ ) 10nGy/h ~ 10<sup>4</sup>nGy/h  
 ( 屋外放射線監視盤表示器 0nGy/h ~ 9999nGy/h )  
 ( 屋外放射線監視盤記録計 1 × 10<sup>1</sup> nGy/h ~ 1 × 10<sup>4</sup>nGy/h )
- 電離箱 ( 高レンジ ) 10nGy/h ~ 100mGy/h  
 ( 屋外放射線監視盤表示器 0nGy/h ~ 9999mGy/h )  
 ( 屋外放射線監視盤記録計 1 × 10<sup>1</sup> nGy/h ~ 1 × 10<sup>2</sup> mGy/h )
- ( 5 ) 警報設定 測定範囲内で可変
- ( 6 ) 測定方法 指示、紙面記録及び警報
- ( 7 ) 取付個数 9 式 ( M P - 1 ~ M P - 9 )

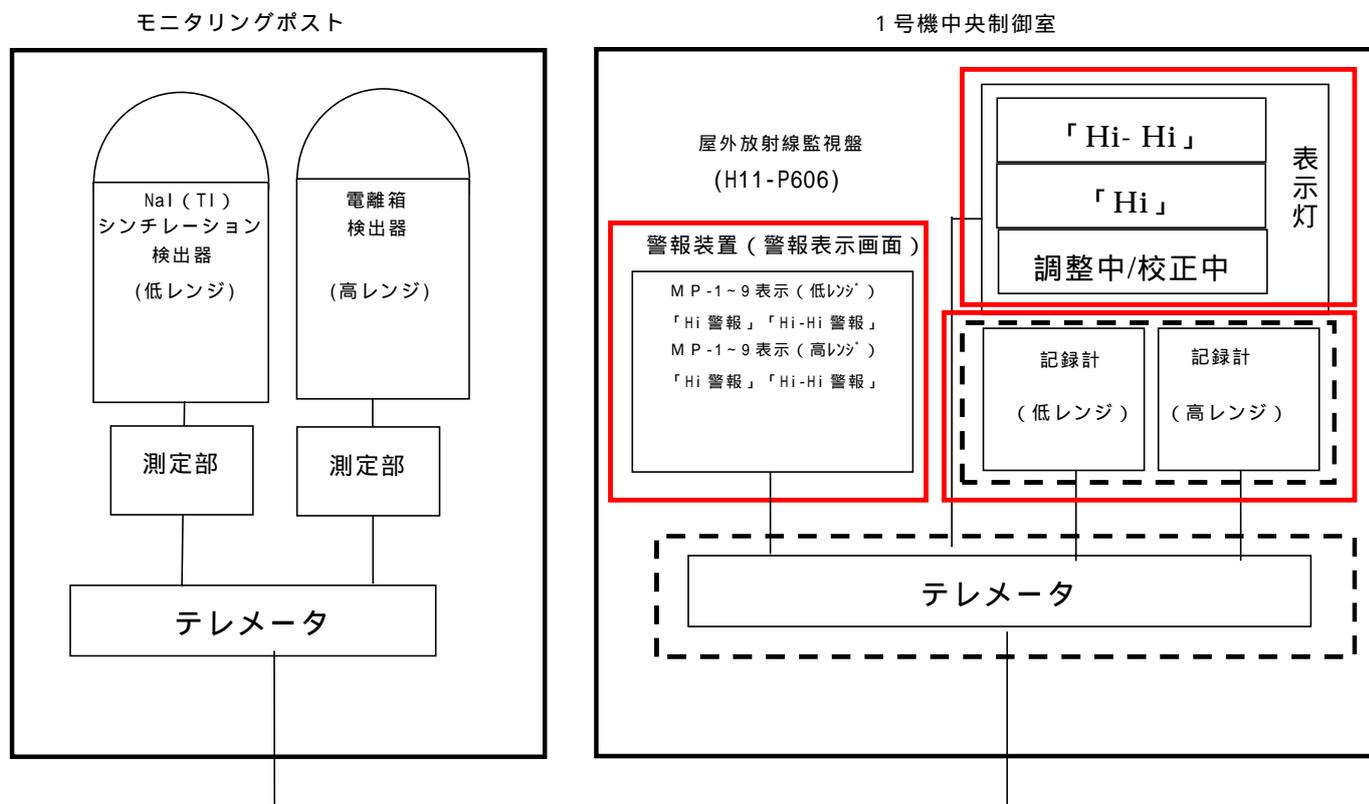
( 事業者提供 )

モニタリングポスト配置図



(事業者提供)

モニタブロック線図



┌───┐ 更新対象機器

┌───┐ 検査対象機器

低レンジモニタ，高レンジモニタの構成はMP - 1 ~ 9 も同じ。

(事業者提供)

## 設定値一覧表

モニタ名称	設定値 ( n G y / h ) 線量率高「Hi」
Na I ( T l ) シンチレーション ( 低レンジ )	1 3 0
電離箱 ( 高レンジ )	1 0 0 0

( 事業者提供 )

## 放射線測定設備の性能検査手順

## 1. 警報レベルの誤差確認検査

- (1) 屋外放射線監視盤(1号機中央制御室)の指示計(デジタル指示計)の作動値を警報設定値の80%となるように、局舎にあるモニタリングポスト測定部(低レンジ)(高レンジ)から電氣的模擬信号を入力する。
- (2) 屋外放射線監視盤(1号機中央制御室)の「Hi」のランプ点灯及び警報吹鳴が1分以内に作動しないことを確認し、検査成績書に記録する。
- (3) 屋外放射線監視盤(1号機中央制御室)の値を警報設定値の120%となるように、局舎にあるモニタリングポスト測定部(低レンジ)(高レンジ)から電氣的模擬信号を入力する。
- (4) 屋外放射線監視盤(1号機中央制御室)の「Hi」のランプ点灯及び警報吹鳴が1分以内に作動することを確認し、検査成績書に記録する。

## 2. 記録確認検査

- (1) 許容範囲(模擬信号の空気吸収線量率 $\pm 0.06N$ デカード以内)を算出し記録する。
- (2) 電氣的模擬信号を局舎の測定部から入力し、屋外放射線監視盤(1号機中央制御室)にある低レンジ記録計指示値及び高レンジ記録計指示値が許容範囲内に入っていることを確認する。

東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

放射線測定設備に関する  
検査成績書

令和 5 年 8 月  
原子力規制庁

- 1 . 事業所名 柏崎刈羽原子力発電所  
 2 . 検査名 放射線測定設備の性能検査  
 3 . 検査申請番号 原管発官 R5 第 90 号 ( 令和 5 年 7 月 5 日 )  
 4 . 要領書番号 原規放発第 2308092 号  
 5 . 検査項目 検査結果は以下のとおり。

検査項目	検査年月日	結果	検査担当職員署名	摘 要
警報レベルの誤差 確認検査				
記録確認検査				

- 6 . 検査記録、その他添付資料  
 ( 1 ) 放射線測定設備の性能検査 検査前確認事項  
 ( 2 ) 検査用計器一覧表  
 ( 3 ) 記録一覧表  
 ( 4 ) 警報レベルの誤差確認検査記録  
 ( 5 ) 記録確認検査記録

7 . 特記事項

8 . 検査担当職員 ( 署名 )

9 . 検査立会責任者 ( 署名 )

原子力防災管理者 / 副原子力防災管理者

## 放射線測定設備の性能検査

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	確認年月日	結果	備考
検査用計器が校正されており有効期限内にあること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和 年 月 日		
特記事項				

## 検査用計器一覧表

検査年月日    令和    年    月    日

検査場所：

検査項目	機器名称	計器番号	校正年月日	備考
			校正有効期限	

検査項目の記載について

(警)：警報レベルの誤差確認検査

(記)：記録確認検査

記録一覧表

検査年月日 令和 年 月 日

検査場所 :

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日	備考

備考欄の記載について

(警) : 警報レベルの誤差確認検査

(記) : 記録確認検査

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 1 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 1 )

( 1 ) N a I ( T l ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 1	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 2 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 1 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 1	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 3 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 2 )

( 1 ) N a I ( T 1 ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( nGy / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 2	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 4 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 2 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 2	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 5 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 3 )

( 1 ) N a I ( T 1 ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( nGy / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 3	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 6 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 3 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 3	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 7 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 4 )

( 1 ) N a I ( T 1 ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( nGy / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 4	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 8 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 4 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 4	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 9 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 5 )

( 1 ) N a I ( T 1 ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( nGy / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 5	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 1 0 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( N P - 5 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 5	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 1 1 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 6 )

( 1 ) N a I ( T 1 ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( nGy / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 6	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 1 2 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 6 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 6	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 1 3 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 7 )

( 1 ) N a I ( T 1 ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 7	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 1 4 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 7 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 7	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 15 / 18 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 8 )

( 1 ) N a I ( T 1 ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 ( nGy/h )	照射等による数値 ( nGy / h ) < 設定値に対する割合 >	確認事項			結果	備考
			正常に作動 ( 1分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 8	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 1 6 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 8 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 8	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 17 / 18 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 9 )

( 1 ) N a I ( T 1 ) シンチレーション ( 低レンジ )

モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 9	130	104 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		156 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 警報レベルの誤差確認検査記録 ( 1 8 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 9 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ )

モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 ( n G y / h ) < 設定値に対する割合 >	確 認 事 項			結 果	備 考
			正常に作動 ( 1 分以内 )	ランプ点灯	警報吹鳴		
M P - 9	1000	800 ( 80% )	有・無	有・無	有・無		無なら良
		1200 ( 120% )	有・無	有・無	有・無		有なら良

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 1 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 1 )

( 1 ) N a I ( T I ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
M P - 1	N a I	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI(TI)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

# 記録確認検査記録 ( 2 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 1 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 1	I C	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記録計単位 mGy/h は N = 2 を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI (TI) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 3 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 2 )

( 1 ) N a I ( T I ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
M P - 2	N a I	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI(TI)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 4 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 2 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 2	IC	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記録計単位 mGy/h は N = 2 を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI (TI) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 5 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 3 )

( 1 ) N a I ( T I ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
M P - 3	N a I	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI(TI)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 6 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 3 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 3	IC	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記録計単位 mGy/h は N = 2 を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI (TI) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 7 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 4 )

( 1 ) N a I ( T I ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
M P - 4	N a I	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI(TI)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 8 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 4 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 4	IC	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記録計単位 mGy/hはN=2を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI(Tl)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 9 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 5 )

( 1 ) N a I ( T I ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
M P - 5	N a I	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI(TI)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

# 記録確認検査記録 ( 1 0 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 5 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 5	IC	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記録計単位 mGy/h は N = 2 を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI (TI) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

# 記録確認検査記録 ( 1 1 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 6 )

( 1 ) N a I ( T I ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
M P - 6	N a I	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI(TI)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 1 2 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 6 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 6	IC	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記録計単位 mGy/h は N = 2 を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI (TI) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

# 記録確認検査記録 ( 1 3 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 7 )

( 1 ) N a I ( T I ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
M P - 7	N a I	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI(TI)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

# 記録確認検査記録 ( 1 4 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 7 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 7	IC	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記録計単位 mGy/h は N = 2 を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI (TI) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

# 記録確認検査記録 ( 1 5 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 8 )

( 1 ) N a I ( T I ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
M P - 8	N a I	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI(TI)シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

# 記録確認検査記録 ( 1 6 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 8 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 8	IC	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記録計単位 mGy/h は N = 2 を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI (TI) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 17 / 18 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( MP - 9 )

( 1 ) NaI ( TI ) シンチレーション ( 低レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考
MP - 9	NaI	nGy / h	$5.0 \times 10^1$				
			$5.0 \times 10^2$				
			$5.0 \times 10^3$				

NaI : NaI (TI) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )

## 記録確認検査記録 ( 1 8 / 1 8 )

検査年月日 令和 年 月 日

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査担当職員 \_\_\_\_\_

検査立会者 \_\_\_\_\_

モニタリングポスト ( M P - 9 )

( 2 ) 電離箱 ( 高レンジ ) ( N = 4 )

モニタ 名称	検出器	記録計 単位	照射等による数値	記録計指示値	許容範囲	結果	備 考	
M P - 9	I C	n G y / h	$5.0 \times 10^1$				記 録 計 単 位 mGy/h は N = 2 を用 いること	
			$5.0 \times 10^2$					
			$5.0 \times 10^3$					
		$\mu$ G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^4$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^2$ ( $5.0 \times 10^5$ nGy/h )					
			$5.0 \times 10^3$ ( $5.0 \times 10^6$ nGy/h )					
		m G y / h	$5.0 \times 10^1$ ( $5.0 \times 10^7$ nGy/h )					

NaI : NaI ( T I ) シンチレーション IC : 電離箱

検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ・ 否 )